

15名の竹田小学校最後の卒業生



6年生が登校してくるのも後3日となりました。

写真は、先日のジャンボ休みにした先生方とのドッジボール



後の記念写真です。先生方も含めみんないい顔していますよね。

手にしているのは6年生みんなから先生方一人ひとりへの似顔絵とメッセージカードです。

卒業プロジェクトと名付け6年生が3月を中心に行ったイベントは本当にたくさんあります。2月末の「10000m思い出駅伝」に始まり、「愛校作業」、「竹山フェスティバル」、「思い出遠足」、「6年生を送る会での劇」、「下級生のへのお別れ授業」、「先生方との





ガチドッジボール」、「卒業文集」と充実した毎日でした。

こうしたプロジェクトの中には、今年度初めて取り組んだものも多くあり、担任に尋ねると子どもたちが『やりたい、こうしたらできるんじゃない』と話し合う中で決まっていたと話してくれました。しなければならないのではなく、自分たちがやりたいことを計画・実行した経験は何事にも変えられない貴重な経験になったと感じています。

その中の一つ、下級生へのお別れ授業では15人が3人ずつのグループに分かれ、各学年に1時間授業を行うものでした。1年生はお買い物、買えるか買えないかなど算数セットのお金を使って算数的な活動を取り入れていました。2年生は学習した力を使って解ける算数プリントを作成し、一緒に問題を解いていました。3年生は動物などのクイズを、4年生は謎解き問題などグループに分かれて回答する、5年生は、それまでに5年生からあった6年生への質問にこたえる授業を行っていました。誰でもそうですが、6年生の中にも人前で話すことが得意な子も

いれば苦手な子もいます。ただ、人前で話すことが得意でない子も、



各学年の中で楽しそうに話をしているのは、この１年間の一人ひとりの成長と下級生との人間関係の中で心理的安全性が確保できているからではないかなと思いながら微笑ましくみていました。

卒業式の練習も始まりました。残された時間を大切に過ごしていきたいと

感じています。